日時：令和5年9月29日（金）　15:00～

第2回大牟田市地域公共交通活性化協議会　議事録

参加者：	
大牟田市	副枝副市長
学識	九州工業大学：吉武委員
運行事業者	九州旅客鉄道：深松氏、西日本鉄道：荒巻氏、西鉄バス大牟田：下川氏、大牟田タクシー協会：吉野氏、やまさ海運：伊達氏
行政機関	九州運輸局：是久氏、福岡国道事務所：下川氏、福岡県交通政策課：中元氏、南筑後県土整備事務所：牛島氏
市民・利用者	大牟田市校区コミュニティ連絡協議会：野田氏、大牟田市民：田中氏、大牟田市内高等学校校長会：荒木氏
商工会	大牟田商工会議所：山科氏
オブサーバー	みやま市：吉開氏、南関町：永松氏、荒尾市；伊藤氏
大牟田市	都市整備部：米崎部長、谷本副部長
	国県道路・地域交通対策課：原田課長、中島主査、壇氏
福山コンサル	高嶋氏

１．【議案第１号】市内路線バスの効果的な見直し検討について：資料1

発言者	該当P	意見	返答・対応方針等
吉武氏	P25	路線バスの効果的な見直し検討のところは、今後のスケジュールはどうするのか。	6月より分科会を1～2回行い、コンサルや学識者、交通事業者も含めた中で、今回の協議会に出すにあたって検討を進めている。 本日の協議会には9系統を補助路線として出しているが、その中の2路線は特に手当が必要ということで、路線の見直しをどのようにしていくかを今後定期的に協議会に掛けていく。これから路線の見直しが必要なところは、バス事業者と協議しながら協議会や分科会の中で今後の方向性を検討していきたい。
		9月以降のスケジュールが何も書かれていないので、何か書いていた方がいいのでは。	路線バスの具体的な見直しについては、バスの改変が10月1日であるため、来年度の10月1日を目処に、協議会に諮りながら状況等を説明していくなど進めていきたい。
中元氏		再編というのは、減便なのか廃止なのか。	再編の見合わせは、減便や現状維持等含めて総合的に検討を進めていきたいと考えており、まとめて再編と書かせていただいた。また、半年前の申請が必要になってくるということであれば、来年の10月目処に間に合うよう3月末までには諮る必要がある。廃止になった場合には、スケジュールに沿って手続きを進めていきたい。
		2024年問題でダイヤ改正や減便が発生してきているが、大牟田市はどのような状況か。	（返答：西鉄バス大牟田　下川氏） 大牟田市の運行路線は、改正基準の対策は対応が進んでいる状況。しかし運転時間の長いところもあるので、今後若干短くしていくことは、乗務員の待遇改善というところで必要と考えている。
副枝氏（議長）	－	議案第1号については承認いただくということでよろしいか。 全員：異議なし それでは、議案第1号については承認とする。	

２．【議案第２号】新大牟田駅の乗継利便性の向上検討について：資料2、資料3

発言者	該当P	意見	返答・対応方針等
吉武氏	資料2 P6～7	一般の方はどこで降りられているのか、また、一般タクシーがどんな動きをしているのかのポイントを押さえて、タクシー協会と相談をしていただきたい。	検討にあたって、実証実験を半年ほど見ており、その中でタクシー協会から意見をいただきながら調整を進めていきたい。
中元氏	資料2 P4～5	新幹線快速バスの方は、10月末までで実証実験を終えた結果、吉野線57番を接続することがふさわしいと判断したのか。	まず、実証実験の利用状況で、速達性を重視した快速バスに対して、路線バスは利用が伸びてきており、快速バスよりもきちんと接続されているため、速達性より路線バスの方が選ばれている。 また、路線バスと快速バスを両方入れたとしてもそんなに便数は多くないため、今回の実証実験の結果を踏まえて、57番を入れることで約1.5～2倍の路線が入って接続性が増すと考えている。
下川氏	資料2 P4～5	今回57番を取り入れることで、乗務員の運転時間が増えたことを考えて、ある程度のタイミングで利用が大幅に伸びないということになればまた元の系統に戻すこともご検討いただきたい。	今回路線を見直して、実際に利用がなければまた対応をする。ただし、新大牟田駅周辺は産業団地の整備等の動きもあるため、路線の増減については事業者や地域と話しながら、柔軟に対応させていただきたい。
副枝氏（議長）	－	議案第2号についてはご承認いただくということでよろしいか。 全員：異議なし それでは、議案第2号については承認とする。	

３．【報告事項１】有明エリアMaaS実証実験について：資料4

発言者	該当P	意見	返答・対応方針等
伊達氏	P6	MaaSの公共交通の範囲はバスや電車等以外に高速船も入るのか。	公共交通の範囲については、あらゆる交通となっているため、高速船等全部含めての取り組みとなっている。今回は1回目の実証実験のため、まずは出来るところから進めている。現在は県で取り組んでいるが、最終的には九州MaaSになるということで、全ての移動手段が参加する形で進められるものと認識している。
吉武氏	P3	新大牟田駅からの乗合タクシーなどの情報が博多にいる間に取れることが大事。アプリのプラットフォームに、情報を載せていただくことは役に立つことだと思うので、MaaSで工夫をしていただきたい。	県やアプリ事業者と協議をしており、大牟田で検索した場合に、乗合タクシーの実証実験がポップアップで出てくるなど技術的に可能であるため、検討していきたい。

４．その他

発言者	該当P	意見
田中氏	－	バスの減便が大きく取り上げられて、これから自分たちが動けなくなるという感覚を持たれてる方が多く、足がないことに苦を感じていると思う。自動運転は未来を見据えていて大事なことだが、自分の行きたいところにすぐ行けるような実生活をしている人のニーズも入れていただきたい。